



大栄中はいい学校？ -あいさつ運動に思うこと-

6月の最終週の朝のことです。大栄中学校の入り口付近は結構なにぎわいを見せていました。まずは、生徒会執行部の男子4人。あいさつ運動を盛り上げようと本校のあいさつ運動のキャッチフレーズ「先・見・笑・大」のプラカードを首にかけはじめました。生徒会担当の先生もそれを見守るように毎朝立ち、6月から本校に来ている教育実生がこれに加わり、さらには生徒会があいさつ運動に参画するよう呼びかけているため日替わりで他の生徒も並んでいます。そしてこの週は「青少年育成北栄町民会議」の取り組みで、地域の方、PTAの方、町役場の方もあいさつ運動に来てくださったのでこのように賑わいとなっていたのでした。



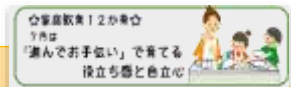
このような光景が生まれるのは「あいさつは大切なこと」ということをみんなが知っているからでしょうし、同時によほど意識していないと私たちはその大切なことをなおざりにしてしまうことがあるということもみんなが知っているからでしょう。あいさつのある学校や地域はがんばらないとできないのです。

生徒諸君にはこんな話をしたことがあります。「大栄中の生徒は授業にも落ち着いて取り組めるし、部活もがんばっていると思います。でも、勉強や部活でどんなにいい成績を収めても、もしあいさつや掃除のできない学校だったら、大栄中はいい学校ですと言いきれない気がします。反対に、例えば今思うような成績が出ていなくてもあいさつや掃除にがんばっている生徒だとしたら、大栄中はいい学校です、と胸を張りたいと思います。」

ずいぶん単純化した仮定の話です。実際には勉強の成績もやはり気になりますし、6月の県総体予選では本当に立派な成績を残したことで、学校全体が盛り上がっていることを考えると成績は大事なことです。もっと言えば、あいさつやそうじといった生活面と学習や部活などの成績は決して別々のものではなく、根底の人間力が問われることです。その力を磨くために生活や勉強の両面にがんばっていると言ってもいいでしょう。

そんなことは本当はみんな知っています。ただ、数字とかでは表しにくい生活面は、よほど意識していないとつい後回しにされてしまうことがあるものです。そうならないためにも、私たちはお互いに声を掛け合ったり「〇〇運動」として行動に移してみたり、当たり前前のことが何とか当たり前前のままであるようにするためにがんばらなければなりません。

だから、生徒も先生も、先輩も後輩も、そして保護者の方も地域の方も町役場の方もみんなが声をかけあう朝はとても素敵な朝だと思うのです。だから、大栄中は今、ちょっと、いや、かなり胸を張れるいい学校になっていると思うのです。



第45回 鳥取県中学校総合体育大会

- <バドミントン> 7月13日・14日 男子2回戦 VS 高草中・後藤ヶ丘中の勝者 (米子産業体育館)
<13日団体・14日個人> 女子1回戦 VS 岩美中 (米子産業体育館)
- <軟式野球> 7月20日・21日 1回戦 VS 鳥取南中 (岩美町野球場)
- <バレーボール> 7月20日・21日 1回戦 VS 福米中 (鳥取産業体育館)
- <バスケットボール> 7月20日・21日 1回戦 VS 福米中 (鳥取県民体育館)
- <卓球> 7月20日・21日 男子団体 予選リーグE組〔大栄中・岩美中・大山中〕(倉吉体育文化会館)
<20日団体・21日個人> 女子団体 予選リーグD組〔大栄中・中ノ郷中・岸本中〕(倉吉体育文化会館)
- <柔道> 7月20日 個人戦 午前 (県立武道館)
男子団体2回戦 VS 八頭中、河北中の勝者 午後
女子団体1回戦 VS 溝口中 午後
- <陸上> 7月20日・21日 会場：コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク陸上競技場

7月の行事予定

日	曜	行事予定	部活	給食
1	月		○	○
2	火		○	○
3	水	校内授業研究会 (1-1 道徳)	×	○
4	木		○	○
5	金	PTA 役員会 (19:00) ・ 評議員会 (19:30)	○	○
6	土	通信陸上		
7	日	通信陸上		
8	月	3-1 家庭科保育実習 (10:00 大誠こ) 全校人権集会 (午後)	○	○
9	火		○	○
10	水	3-2 家庭科保育実習 (10:00 大誠こ) 学校保健委員会 (14:00) 人権学習会	バド のみ	○
11	木	3年診断テスト③ 激励会 文化部マンガ・イラスト教室 (16:40) 地区別懇談会 東園 (19:00) ・ 東園浜 (19:30)	○	○
12	金	3-3 家庭科保育実習 (10:00 大誠こ) 漢字検定 (16:30)	○	○
13	土	県総体 (バドミントン 米産体)		
14	日	県総体 (バドミントン 米産体)		
15	月	海の日		
16	火		○	○
17	水	各種委員会 人権学習会	△	○
18	木		○	○
19	金		○	○
20	土	県総体		
21	日	県総体		
22	月	県総体	○	○
23	火	終業式	○	×
24	水	期末懇談	各部の 計画による	
25	木	期末懇談		
26	金			
27	土	人権学習会鳥取盲学校との交流		
28	日	台湾交流		
29	月	台湾交流 P人推部研修		
30	火	台湾交流		
31	水	台湾交流		

だい い えい 歳時記 『緑陰』 りよくいん



技術棟横の木立

今年はずいぶんと遅い梅雨入りでした。あの蒸し暑ささえなければ、この季節もこんなに陽射しが対象物の輪郭を鮮やかに見せてくれる気持ちの良い季節なのです。

「緑陰の涼風吹きつけ我つつむ」(かりん) 国語の時間に創作したこの句は、そんな光を「緑陰」という季語でとらえました。濃い緑の葉は、当然風を受けて揺れているのですが、この季節の光を受けた葉の存在感により、まるで葉自体がこの風を起こしているようだと描いたところがこの句の工夫です。その風の何と気持ちよげなこと。

この作者に限らず、三年生は自分の表現を求めて、粘り強く考えました。何度もダメ出しを受けながら、これではどうだと食らいついて、最後に納得の表現に行きついたり、どこかしら心残りを持ちながら清書したり、本当によく勉強しました。

先日おいでになったお客様が、そんな過程を全くご存じないのに「この三年生の俳句いいですね。」と気づいてくださって、自分が褒められたようにたいそううれしく思ったのでした。(K)